

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	2-1-1	3-4-2	5-2-1	事業名	市民との協働による都市計画制度の普及
担当	市)都市計画部都市計画課 湯谷 (211-2506)				
全体計画（当初）					
事業内容	平成16年3月に策定した札幌市都市計画マスタープランの理念や、市民から「難しい」、「分かりづらい」などと捉えられがちな『都市計画』の制度や仕組みが市民に身近なものとなるように、市民参加を通じて「市民と共に考え、共に悩み、共に行動」し、都市計画読本“まち本”の作製や、地域ルールづくりの実践の中で都市計画全般の周知・普及に努める。更に、その作成プロセスを通して「さっぽろを支える市民の育成」と「職員資質の向上」を目指す。		＜年度別の事業内容＞		
			平成16年度 「まちづくりに役立つ都市計画の本」(通称「まち本」)作製 平成17年度 「まち本」の活用などによる都市計画制度等の普及 地域における先進事例の紹介や次世代育成に向けた事業展開 平成18年度 「まち本」の活用などによる都市計画制度等の普及 子ども向け都市計画普及本「ミニまち(さっぽろのまちがわかる小さな本)」作製		
事業内容 (量・場所・規模等)	平成16年度事業内容(決算)		平成17年度事業内容(決算)		
	<p>【まちづくりに役立つ都市計画の本(通称「まち本」)作製】 概要 土地の使い方や建物の建て方などを決める都市計画の基本から、マンション問題・さっぽろの街並みなどについて、イラストや問答形式、平易な文章により、親しみやすく分かりやすく説明した入門書。(A5判(カラー・80ページ)、8,000部) 編集にあたっての取り組み ホームページによる編集過程の公開 作製にあたっての考え方や編集手法、編集状況等を公開。 都市計画に関するアンケート調査の実施 札幌市都市計画マスタープラン策定にご協力いただいた市民に対して原稿作成前にアンケート調査実施。(回答56人) 広報さっぽろ等による市民・職員からの意見募集の実施 都市計画への疑問や知りたいことなどを意見募集。 編集サポーターを募集しての試作品モニター調査の実施 広報さっぽろやホームページにより編集サポーターを募集。 試作品のモニター調査を行い、編集に反映。 (編集サポーター:66人(年齢層:13歳～79歳)) 「まち本」試作品を活用しての出前講座の実施 地域で実際にまちづくりに取り組んでいる団体に対して、試作品による出前講座を実施。</p>		<p>【「まち本」の活用などによる都市計画制度等の普及】 「まち本」市民配布 「まち本」Web版公開 「まち本」一部改訂版増刷 まち本ラジオ講座実施。 【地域における先進事例の紹介や次世代育成に向けた事業】 JRタワー展望室を活用した子どもの日講座実施 カルチャーナイト(C・N)市役所見学ツアーにおける屋上からの街並み案内実施 JRタワー展望室を活用した親子まちづくり講座実施 「南円山6条地区」の取り組み事例をホームページにて紹介</p>		
事業内容 (量・場所・規模等)	平成18年度事業内容(決算)		評価(成果)		
	<p>【「まち本」の活用などによる都市計画制度等の普及】 「まち本」市民配布 【次世代育成本「ミニまち(さっぽろのまちがわかる小さな本)」作製】 概要 子どもたちが都市計画のしくみやルール、都市景観について、楽しく読みながら学ぶことができるよう、親しみやすいキャラクターによる会話形式、イラスト・写真を中心とした構成やパラパラ漫画などで分かりやすく解説した読本。(A6判(カラー・84ページ)、10,000部) 編集にあたっての取組 ホームページへの素案の公開 作成にあたっての考え方や素案をホームページにより公開。 市内小学校総学習担当の方々からの意見募集の実施(回答114人) 「まちなみルール体験講座」実施時の意見募集の実施 北区幌北小学校で実施した講座の中で、6年生60名とその保護者20名の方々から素案に対する意見を募集し、編集に反映。 都市計画情報の提供を希望されているの方々からの意見募集の実施(回答46人) 【その他次世代育成に向けた事業】 JRタワー展望室を活用した子どもの日講座実施 C・N市役所見学ツアーにおける屋上からの街並み案内実施 JRタワー主催の子ども向け講座「そらの自由研究」への支援</p>		<p>「まち本」は、発行後約1ヶ月で初版8,000部が在庫切れになるほどの大好評となり、一般市民配布のほかに、市民活動団体や町内会、学校、他自治体などから多くの問い合わせや配布希望が寄せられた。 また、「まち本」を活用したラジオ講座などの各種講座では、毎回受講者にアンケート調査を実施しているが、概ね高い評価を得ている。</p>		
19年度以降の方向性・事業の予定					
<p>「まち本」の活用、出前講座の開催などによる都市計画制度を中心としたまちづくりに関するルールの普及や、「ミニまち」を活用した次世代育成のための事業展開を図っていく。 また、各地域における先進的なまちづくりの取組事例の紹介についても適時行っていく。 (平成19年度以降の事業予定) 「まち本」の活用などによる都市計画制度等の普及 「まち本」随時改訂版配布 「まち本」活用講座実施 「ミニまち」を活用した次世代育成事業や地域における先進的なまちづくり事例の紹介 「ミニまち」の配布、「ミニまち」活用講座実施 「ミニまち」Web版公開 市役所屋上を利用した子ども向け講座の実施 地域における先進的なまちづくりの取組事例紹介 地域における勉強会・ワークショップ手法の検討</p>					

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書 （単位：千円）

施策体系コード	2-1-1	3-4-2	5-2-1	事業名	市民との協働による都市計画制度の普及
---------	-------	-------	-------	-----	--------------------

事業費の推移

項目		16年度	17年度	18年度	計	進捗率(%)
計画	事業費	9,600	7,200	7,200	24,000	-
	財源内訳					
	国・道支出金				0	-
	市債				0	-
	その他				0	-
	一般財源	9,600	7,200	7,200	24,000	-
実績	事業費	6,452	4,176	2,781	13,409	55.9
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	-
	市債	0	0	0	0	-
	その他	0	0	0	0	-
	一般財源	6,452	4,176	2,781	13,409	-

計画との差異（予算・事業内容・規模・時期等）

[全体][16年度][17年度][18年度]
 計画額と予算額の差額については、部内職員プロジェクトの設置等により委託事業を縮小し、直営事業を増大したため。
 予算額と決算額の差額については、効率的・効果的な事業実施による節減。
 その他「まち本」大好評により増刷（初版8,000部（16年度）、第2版10,000部（17年度）、一部改訂第3版増刷12,000部（17年度））。

主な施設、サービス等の整備水準

項目	15年度末 （現状）	16年度末 （実績）	17年度末 （実績）	18年度末 （実績）	18年度末 （目標）

関連予算事業内訳

予算事業名(小事業名)	経・臨 臨時	枠内外 枠内	16年度	17年度	18年度	計
市民との協働による都市計画制度普及事業費			6,452	4,176	2,781	13,409
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
計			6,452	4,176	2,781	13,409